

●この書目は、各道府県の読書推進運動協議会から寄せられた推薦を基にして選定したものです。本を選ぶ手がかりにしてください



原田ひ香
月収

年金暮らしで月収4万円の66歳から、株や投資信託で月収300万円ある52歳までが織りなす、お金をテーマにした人間ドラマ！ 原田ひ香の新作が登場です。

ISBN978-4-12-005885-1
1,870円 中央公論新社



野崎まど
小説

「物語に救われ、読書に呪われた」君はなぜ、小説を読むのか？これはフィクション。しかし虚構ではない。読むことを愛するすべての「あなた」が主人公の、祝福の物語。

ISBN978-4-06-537326-2
2,145円 講談社



額賀 澤
願わくば海の底で

東北地方沿岸部のとある高校。そこで起こるささやかな謎の中心には、いつだって彼がいた。2011年の「あの日」を境に姿を消した、青年の生きた軌跡と鎮魂の物語。

ISBN978-4-488-02920-3
1,760円 東京創元社



白尾 悠
隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい

ココ・アパートメント——心地よい暮らしを作るために住人が協働するコミュニティ型マンション。多世代の心の交流を温かな筆致で描く。静かな感動を呼ぶ連作小説。

ISBN978-4-575-24776-3
1,870円 双葉社



塩田武士
踊りつかれて

「誰かが死ななきゃ分かんないの？」言葉が異次元の暴力になるこの時代。息苦しいほどの「正しさ」その先に待ち受けるのは、「赦されない」社会。

ISBN978-4-16-391980-5
2,420円 文藝春秋



今村翔吾
人よ、花よ、(上・下)

誰かのために散ってよい命などない。終わりのなき南北朝の戦い。その命運を握る楠木正行の「願い」は叶うのか——。朝日新聞連載の歴史巨編、待望の単行本化！

ISBN978-4-02-252045-6(上) / 978-4-02-252046-3(下)
2,310円(上) / 2,200円(下) 朝日新聞出版



鈴木俊貴
僕には鳥の言葉がわかる

鳥は感情で鳴いていると認識されていた「常識」を覆し、「シジュウカラが20以上の単語を組み合わせて文を作っている」ことを解明した研究者による科学エッセイ。

ISBN978-4-09-389184-4
1,870円 小学館



前田安正
AIに書けない文章を書く

AIが文章を生成する時代に、私たちはいかにことばと向き合っていくのだろう。ベストセラー『マジ文書書けないんだけど』著者と探求する書くことの意義と技術。

ISBN978-4-480-68517-9
946円 筑摩書房



読書猿
苦手な読書が好きになる！ゼロからの読書教室

読むのが辛い、面倒くさい、何を读んだらいいのかわからない……。そんな、読書にまつわる悩みの数々を、「正体不明の読書家」読書猿が一挙に解決！

ISBN978-4-14-081995-1
1,760円 NHK出版



浅倉秋成
まず良識をみじん切りにします

世界にはまだまだ明らかになっていない秘密があります。気付くも気付かないも、あなた次第です。日々の違和感を増殖、暴走させてとり着いた前人未到の傑作集。

ISBN978-4-334-10431-3
1,760円 光文社



古賀及子
好きな食べ物がみつからない

自分のことは、いちばん自分が、わからない。どうでもいいけどこう切実。放っておくと一生迷う「問い」に挑んだ120日を描いた自分観察冒険エッセイ。

ISBN978-4-591-18409-7
1,760円 ポプラ社



東山一悟
投資で2億稼いだ社畜のぼくが15歳の娘に伝えたい29の真実

50歳でリストラされ、投資で2億稼いだ彼は、いかにして大輪のFIREの華を咲かせたのか？ 数々の失敗と成功を明かし、凡人ならではの投資術を余すところなく公開。

ISBN978-4-533-16375-3
1,760円 JTBパブリッシング



今村翔吾
運命を変えるチャンスはなぜか突然やって来る

やりたいことが見つからない、夢を叶えるために何をすればいいのかわからない……。そんな君たちへのメッセージ。夢に向かって一歩踏み出す勇気が湧いてくる一冊。

ISBN978-4-00-027263-6
1,595円 岩波書店



ビーやま (著) / 高田ふーみん (協力)
17歳のときに知っていた受験のこと、人生のこと。

チャンネル登録者60万人の超人気YouTuberが書き下ろし！ 勉強方法から大学選びまで、学校では教えてくれない情報を徹底的に詰め込んだ唯一無二の書。

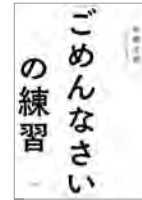
ISBN978-4-478-12185-6
1,650円 ダイヤモンド社



泉 賢太郎 / 死後くん (絵)
大学4年間で「応援」に捧げた私が古生物学者になった話

古生物学者を目指すはずが、大学で「応援部」に熱中。同級生に実力で大きく差をつけられた著者は、応援で培ったガムシャラさを武器に、なんとか挽回を図り……。

ISBN978-4-652-20705-5
1,540円 理論社



林 健太郎
「ごめんなさい」の練習

やっちゃった「あと」が人間関係の最大の分岐点！ 身近な人との「ぎくしゃく」が9割なくなる対話術、関係修復術が身につく一冊。

ISBN978-4-569-85772-5
1,650円 PHP研究所



岡田憲治
言いたいことが言えないひとの政治学

ふだんづかいの対話術を、政治学の知恵をつかって考えていく。個人・集団・社会にたいして、自分の思いを届ける技法とマインドを惜しまなく提案する一書。

ISBN978-4-7949-7457-0
1,980円 晶文社



宮下芳明
13歳から挑むフロンティア思考

イグ・ノーベル賞を受賞した著者による「問題解決」の力を育てる本。フロンティア思考を身につけるための方法論と心構えを、わかりやすい例を挙げてお伝えします。

ISBN978-4-296-20559-2
1,980円 日経BP

若い人に贈る

読書の

2026
すすめ

成人・卒業―新たな一歩を踏み出した
フレッシュなあなたに

若い人たちが本を読まなくなったといわれて、
久しくなります。

若い人たちが本を読まなくなったという
年上の人たちのことは、

若いときにこそ本を読むべきであったという、
後悔のことはでもあります。

あなたのみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、
そうしたものを豊かに持ちあわせている

〈若いとき〉に読書することは、

あとの生き方に必ず大きな実りをもたらします。

あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば、
思いもかけない幸せな「本との出会い」が

きっとやってくるにちがいありません。

公益社団法人 読書推進運動協議会（略称＝読進協）は、
読書の推進によって、わが国の文化の向上に寄与することを
目的として、1959年（昭和34年）の「読書週間」を契機に、
図書館界と出版界の総意のもとに結成されたものです。

現在、全国40の道府県に読進協の設立をみて、
手を携えて読書推進運動を実施しています。

秋の「読書週間」、春の「こどもの読書週間」を主催し、
1～3月には「若い人に贈る読書のすすめ」、

9月には「敬老の日 読書のすすめ」を実施しています。

また、地域の読書グループ活動を支援するなど、
多彩な運動を展開しています。

図書館・書店印



「読書週間」のマーク

窪 美澄

給水塔から見た虹は

はじめてできた「ルーツ」の違う友達、母とのすれ違い――。さまざまな断断に戸惑う2人の“こども”が、少しずつ“おとな”になるひと夏を描いた、ある青春の逃避行。

ISBN978-4-08-770006-0

2,090 円 集英社

宇井彩野

愛ちゃんのモテる人生

18歳のオープンリーゲイ愛は、とあるきっかけで動画配信を始める。10年以上にわたる“モテる”人生の記録。第5回氷室冴子青春文学賞大賞受賞作。

ISBN978-4-309-03220-7

1,848 円 河出書房新社

キリーロバ・ナージャ

ロールモデルがいない君へ

自身と似たような「周りの子や親とはルーツが違う中で育ってきた人」に話を聞き、同じような違うルーツを持つ子どもたちと、その周りにいる人々へエールを贈る本。

ISBN978-4-04-114367-4

1,870 円 KADOKAWA

サヘル・ローズ

これから大人になるアナタに伝えたい10のこと

貧困やいじめに苦しんだサヘル・ローズ。未来の大人に向けて、自分を愛し、他者と手を取り合って生きていくヒントが詰まった、サヘル流「人生指南書」。

ISBN978-4-494-02085-0

1,650 円 童心社

岡野 民

あの時のわたし

すべての出来事が、必ず糧になる――。各分野の第一線で活躍してきた27人の女性に聞く、時代に左右されない生き方のヒント。「暮らしの手帖」人気連載を書籍化。

ISBN978-4-10-355931-3

2,200 円 新潮社

利根川 裕

あらすじと写真でわかる！ はじめての歌舞伎

歌舞伎は「あらすじ」を知ればもっと楽しめる！ 名作50選の観どころがまるわかり。初心者から古参のファンまで、歌舞伎の魅力を楽しみ尽くす一冊です。

ISBN978-4-418-25217-6

1,980 円 世界文化社



公益社団法人

読書推進運動協議会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32
出版クラブビル6F

電話(03)5244-5270

FAX(03)5244-5271

<http://www.dokusyo.or.jp>